

会報

2017-3号

日本福音ルーテル東京池袋教会

〒171-0014 豊島区池袋3-7-1

☎3984-3853 ikejelc@a.toshima.ne.jp

<http://www.jelc-ikebukuro.org/>

発行日 2017年 9月24日

牧師・青田 勇

前回に引き続き、「大草原の小さな家」を紹介します。

この話は作り物の話ではありません。娘のローラが実際に体験した話を書いたのですから、あそこに出てくるお父さん、お母さんは現実にちゃんといた人です。

ドイツの映画とヨーロッパの映画、フランス、イタリア、最近ではポーランドの映画などをみますと汚い部分とか、家族とか夫婦の裏の面がよく出てきます。よく言えば、アメリカ映画に比べてそれだけヨーロッパ世界のほうが歴史が長いし、また教会においても、色々な問題を抱えてやってきているので、表面と裏との使い分けを適切にするのです。

だが、それに比べるとアメリカはキリスト教精神の下にひとつの理想をどこかで抱いて作った若い国です。ですから、アメリカでは純粹に建前だけで押し通すことができる爽やかさを持っています。あの「大草原の小さな家」のお父さん、インガルス・ワイルダーの性格は理想的な父親だと思います。そして、それはフィクション、うその話ではなく、実際にいた親父なのです。

その物語の中にこのようなシーンが描かれています。お父さんが用事で外に出かけ、家に帰ってくる時に、オオカミに出会うのです。オオカミはすぐに飛びかかってきません。しばらく、すごい緊張の中で、見詰め合うのですが、何とかそこから逃れることができるのです。家では、お父さんの帰りが遅いので、お母さんとメアリーとローラが心配して待っているのです。そこへお父さんが真っ青な顔をして帰ってくるので



す。帰ってくるなり、「オオカミに出会ったんだ」と言うと、みんなが抱き着いて、「よかった、よかった」というのです。

ただこれだけの話ですが、これは印象深い場面です。私たち人間は常にどこかで、予想をしない時にも、突然のごとく危ないことに遭遇するのです。生きている限り、危険と危険は隣り合わせです。そのために私たちはそれぞれできる限りチャンと供え、準備し、心して事にあたるのです。でも、それでも、予想しない事柄が起こります。そして、家族一人一人も、小さな子供もその想定しない危機に自らの人生を必死の思いで生き抜かなければならないのです。

気をつけないと、同じ家族であっても、それぞれの家族が必死で生きている人のことが私たちはよく分からないことがあります。また、同じ家族であって、自分のことを話さないことがあるのです。

だが、危険の中を、人生の道を、また1日1日を必死の思いで働いて帰って来た時に、喜んでくれる家族、自分の一日の辛さを聞いてくれる人がいると、危険の中で抱いていた緊張はほぐれ、明日に生きる力がそこから湧き上がってくるのです。

危険・試練を^{くぐ}り抜けた後に、「よかったね」と一言いってくれる人が待っていてくれる、これは何物にも代え難い喜びと安らぎであります。そして、そこから明日に向かっての生きる力が生まれる、ということをこの「大草原の小さな家」は私たちに語っています。



宗教改革記念 500周年 ルターの年譜 (1483~1546)

1483年11月10日	ドイツのアイスレーベン(Eisleben)に生まれる。
11月11日	聖マルチンの日、その聖人の名前をもらって洗礼を受ける。
1484年	家族と共にマンسفェルト(Mansfeld)に移る。
1488年~96年	マンسفェルトで学校に通う。
1497年	マルデンプルク(Magdeburg)の司教座聖堂付属学校に通学。
1498年~1501年	アイゼナハ(Eisenach)の男子学校に通学する。
1501年~1505年	エルフルト(Erfurt)大学で哲学を専攻し、修士を取得。
1505年5月	エルフルト大学の法学部に進学する。
7月 2日	シュトッテルンハイムで落雷に遭い、修道士を誓う。
7月17日	エルフルト市内の聖アウグスチヌス修道士会に入る。
1507年	エルフルトの大聖堂において司祭に叙階される。
1508年	ヴィッテンベルクのアウグスチヌス修道院に移る。
1509年	エルフルト市内のアウグスチヌス修道院に戻る。
1510年~1511年	アウグスチヌス修道院の要請でローマへ旅行する。
1512年	神学博士の学位を受ける。恩師シュタウピッツの後任としてヴィッテンベルク大学神学部教授となる。
1514年	ヴィッテンベルクの町の教会の牧師に任命される。
1515年~1518年	複数のアウグスチヌス修道院の監督の責任を持つ。
1517年 10月31日	免罪符についての「95箇条の提題」教会の罪に貼り付ける。
1518年	ハイデルベルク討論。アウグスブルクでカエタン司教の審問。ライプチヒ討論。
1520年	宗教改革三大文書(「ドイツのキリスト者貴族に与える書」「教会のバビロン捕囚」「キリスト者の自由」)が焼かれ。
1521年	正式に破門状が発せられ。ヴォルムス(Worms)国会で所説の撤回を拒否、ヴォルムス勅令発布、帝国追放の刑に処せられる。
1521年~1522年	ワルトブルク城に保護される。ドイツ語訳新約聖書刊行(9月)。
1522年	ヴィッテンベルクに戻る。八つの連続説教を行う。
1524年~1525年	農民戦争勃発
1525年	カタリーナ・ウォン・ボラ(Katharina von Bora)と結婚。
1529年	シュパイアー(Speyer)の帝国議会。
1526年より	視察旅行、教会制度の再編成。
1529年	第2回シュパイアー(Speyer)の帝国議会。アウグスブルク信仰告白が帝国議会で宣言される。
1534年	ルターのドイツ語訳聖書完成(新約、旧約を含む)、刊行。
1546年2月15日	アイスレーベンでの最後の説教。
18日	アイスレーベンで死去。63歳。
22日	ヴィッテンベルクの城教会に埋葬される。

教会の主な集会・行事予定（10月～12月）

- ◆ 10月 8日(日)礼拝後、 定例役員会 手話の会
- ◆ 10月11日(水)午後2時 聖書に学ぶ ヨハネ福音書「キリスト者の自由」
- ◆ 10月15日(日)礼拝後 教会バザー
- ◆ 10月22日(日)礼拝後 婦人会に学ぶ 4章16節以下
- ◆ 10月24日(火)午前11時 婦人の聖書会 ルカ福音書
- ◆ 10月29日(日) 宗教改革主日礼拝
- ◆ 11月 4日(土)東教区宗教改革500年記念合同礼拝 国際基督教大学礼拝堂
- ◆ 11月 5日(日)午後3時 墓前合同礼拝(多磨霊園)
- ◆ 11月12日(日)礼拝後、 子供祝福式 定例役員会 手話の会
- ◆ 11月15日(火)午後2時 聖書に学ぶ ヨハネ福音書「キリスト者の自由」
- ◆ 11月22日(水)～23日 宗教改革500年記念合同礼拝(長崎カトリック教会)
- ◆ 11月26日(日)礼拝後、 教会大掃除 「教会バザー」感謝会
- ◆ 12月 2日(水)午後4時 城北地区合同礼拝 東京教会
- ◆ 12月 3日(日)礼拝後、 ミニバザー
- ◆ 12月10日(日)礼拝後、 定例役員会、手話の会
- ◆ 12月13日(火)午後2時 聖書に学ぶ ヨハネ福音書
- ◆ 12月19日(火)午後2時 婦人のクリスマス
- ◆ 12月24日(日)礼拝後 教会のクリスマス祝会
- ◆ 12月24日(日)午後6時 クリスマス・イブ礼拝